

苦南だより

第187号

令和3年3月1日

発行
苦小牧南高等学校PTA

校長

勝 木 祐 一

「踏み込む」と「見守る」と

新型コロナウイルスという目に見えない脅威に世界がさらされ1年が経ちました。新たな日常の中で私たちは命を守ることを第一にして、ふれ合いを避け、不安を抑え続けてきました。このようなことが、人間が本来持つ最大の力の源、人を信じ、人とつながるということを枯らしてはいないかと考えてしまいます。生徒には、この時だからこそ他者と心を重ね、自分は今生きていることを実感できるよう互いに支え合うことに大切さを示していかなければならないと思っています。

学校に限らず、人間が集うことで生まれ育まれていく人々の力が満たされていくために、「踏み込むこと」

と「見守ること」の2つの視点でその在り方を考えてみました。

「踏み込む」ということには、圧迫感があります。お節焼きなら愛される場所もまだありますが、「他人の心にとり足で入りこむ（踏み込む）」等といわれるようでは、人は離れ、友人もいなくなり、個人情報保護やプライバシーの侵害とならぬよう互いの距離感を意識し、各自固有のものや独自性を保証しなければなりません。しかし、相互に関係することには踏み込まないと上っ面だけの関わりになります。周りを騒がせるだけで主体的な動きや本質的な対応にならないことがあります。先の「距離感」は、相手に関わりを拒

む時に作る「壁」となりますが、それと同時に、私たち自身が問題の本質から目を外す「逃げの切り札」にもなってしまう。だから、踏み込むことには、信頼・友情・使命感が伝わらねば成立しないのだと感じています。

「見守る」ということはどういうことでしょうか？

例えば、「子どもはその気になれば、自ら動き出すから、待とう、黙って見守りましょう。」と子どものやる気や自主性に任せ信じることでしょうか。そんな簡単で安易なものではありません。その子の親や保護者ならばそれもアリかもしれませんが、子どもを高校生として、彼らが卒業する年まで、親としての自覚と責任で我が子の生き方や在り方に「踏み込んで」互いを理解しているならば、「赤の他人」の教員が入り込むところはあります。しかし、親子や家族とはいえず、そう簡単でないのが現実です。

学校が子どもの自主性、やる気、可能性に任せ放して何もしないことこそ「放任」です。さらに、人権尊重をまさかの時の逃げ道にするならば、それは最早教育ではありません。「見守る」ということは穏やかで優しく響きますが、教員や大人が傾聴の如く「そうか、そうか」「よし、わかった」と聞くだけなら、子どもだってそ

れが信頼に値するものなのか感じない訳はありません。

「見守り」に根拠がないから放任になります。その子の家族背景、性格、学校での人間関係、生育歴などを踏まえて、私たちにはアドバイス・指導、具体的な指示や支援がベースになつて「見守り」があります。教員や大人の投げ掛けにどう反応するか見守るのです。子どものペースで、急かさず、求めすぎず、出来ることや踏み出そうとしていることにまた関わります。教員（学校）が描く形にならないことも勿論あります。時間の限界もあります。しかし、その子は自分に係わってくれる人間に認められたい、信頼されたいと思っているはず。だから、一人ひとりの多様なものを目を向け、尊重し「それでよい。大丈夫だ。」と背中を押して、支えてやればよいのです。そして、その関わりを広げなければなりません。「見守り」は、静ではなく動です。最後に、「踏み込むこと」と「見守ること」は、人間教育の両輪です。そのバランスは、係わる人間の信頼・友情・使命感として、かけがえのない関係性を築いていくと考えます。厳しく難しいことも多々ありますが、大切にしなければならぬと思っています。



祝卒業

『鬼滅』に明け暮れた 日々を念う

3年次主任 奥村 隆 展

どんなに辛くても、苦しくても、時は流れ続け、決して君に寄り添ってはくれない。だから前を向いて歩き続けるしかない。

たかが漫画の台詞ではあるが、なかなかの重みである。人が一生に味わう苦業の数は等しく、その重みに差は無いという。しかし、数は同じでも重みには大きな差があるものだと思っている。

その差を生むのが各人の持つ『覚悟』である。明確な目標を持ち、己の力量を知り、足りないものを一つ一つ補ってゆく。その過程に回り道はあっても、決して近道はない。それを知り、覚悟し、何があっても歯を食いしばって歩き続けた者にのみ、到達できる高みがある。それを知る者の苦は「糧」となり、決して重いものにはならない。

しかし、殆どの者が苦を糧にすることなく途中で諦め、投げ出し、弱い自分に言い訳をしながら脱落していく。そして「大人になるとは何かを諦めることだ」などともっともらしいことを囁く。そういう者にとつ

ての苦は「堪え忍ぶもの」以外の何ものでもなく、決して「糧」になることもなく、「重いもの」としか感じられない。

コロナ禍の影響で、君達が生きる世の中は決して楽なものではなくなってしまった。しかし、その中で生きて行かねばならない。だからこそ、『覚悟』を持ち、前を向いて一步一步歩いて欲しい。そして、『幸せだ』と思える人生を歩いて欲しい。

新しい一歩を

1組担任 加賀 博

卒業生ならびに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。これまでの多くのご協力やご支援に深く感謝申し上げます。入学以来様々なことがありながらも、あつという間の3年間だったのではないのでしょうか。

私にとっては南高校で2回目の担任でしたが、充実した濃厚な、そして何よりも楽しい時間でした。

卒業生は、ただ与えられたことに取り組むということにとどまらず、自分で目標を見つけ、課題を考え、努力を積み重ねて乗り越えてきました。そのがんばる姿は、時を追うごとに成長を見せていき、たくましさ

を感じさせるものでした。また、自分のことだけでなく、周囲を思いやる優しさを持ち、私自身も多くの場面で助けられたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

高校生活がどうだったかは、卒業後にどのように取り組んでいくかで、本当の意味がわかることができるのだと思います。自分なりに目の前に迫り来る問題に真剣に向き合い、ぶつかっていった経験は、たとえどんな経過や結果であったとしても、自信になったはずです。その後の人生に向けての大きな糧になり、バネになることでしょう。

いよいよ親や教員から巣立っていきます。自分で決めた新しい一歩を勇気を持って踏み出し、力強く歩んでくれることを期待しています。遠くからですが、成功を祈ります。

「想像力」と「工夫する力」を

2組担任 奥 道 明

コロナの影響による自粛で、冬休みは自宅に籠もっていました。暇なので久しぶりに「アポロ13号」という映画を見ました。1970年月探索のため発射された宇宙船が事故を起こしますが、乗組員と地上管制

官たちの創意工夫で、無事地球に帰還するという実話をもとにした映画です。事故で様々な装置が故障する中、人々の「想像力」と「工夫する力」で数々の問題を解決していく姿に感動を覚えました。

現在、コロナウィルス感染症が原因で私たちの生活が当たり前でなくなっている状況がこのアポロ13号の船内と重なります。日本を始め世界各地でコロナの感染を食い止めるため、人々がいろいろなことを想像し、工夫しています。マスク一つにしても、眼鏡がくもらないマスク、涼しいマスク、暖かいマスクなど、様々な工夫がなされたマスクが考案されてきています。私たちの生活が様々な工夫により少しずつ変わりつつあります。

卒業生の皆さんは入学して以来、自然災害や社会の変化により色々困惑させられた年次でした。天候不順により行灯行列が中止になったり、胆振東部地震、英語民間試験の見送り、コロナの流行、新しい共通テストの導入等、多くの困難に遭遇してきたと思います。

どのようにして乗り越えてきましたか？この卒業を機に、3年間で振り返り一つ一つの出来事にどう考え、どのように対応してきたのかを再考

してみてください。

卒業生の皆さん改めて卒業おめでとうございます。皆さんの生きていく時代は、この3年間のように予測不能の時代になっていくと思います。その中で自分らしく生活していくためには、「想像力」と「工夫する力」だと思います。個々の力を周りの人の力とあわせて、少しでも良い世の中を作る大人になることを期待しています。

卒業のお祝いと感謝

3組担任 石 原 玲 子

卒業生の皆様、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

2年次より突然担任をさせていだいたことで、「家庭科の教員に何ができるのか」と、卒業生の皆さんは不安だったと思います。また、保護者の皆様も同様に「進路に不安を感じる」と思っただけです。大きな不安を抱かせてしまいました事をお詫び申し上げますとともに、この2年間で生徒さんからいただいた優しさと、保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

この3年間で、生徒さんとは学校祭やスポーツ大会、遠足や見学旅行

など楽しい時間を一緒に過ごすことができました。しかし、たった3年の中で、胆振東部地震や新型コロナウイルスなどの悲しく苦しい体験もありました。学校生活も大きく変わり、戸惑いの中で生徒さんと生活したことで「命の大切さ」を感じる事が多かったです。

教員生活を続けていると、忘れる事ができない生徒が必ずいます。私にも3名います。彼らは、志半ばで「命」が途絶えた生徒たちです。コロナが流行し、彼らを思い出す事が幾度とあり悲しい気持ちの時に、卒業生の皆さんに支えてもらいました。毎日の健康管理に努め、新しい生活様式の中でも前向きに学習し学校生活を送っていた皆さんはとても心強く、「命の大切さ」を再認識できました。

辛いクラスターが発生することもなく卒業を迎えることができ、最終日には生徒さんへ「命の大切さ」を伝えたいと考えています。

3年間で楽しい体験と辛い体験を経験したみなさんですから、卒業後にどのような壁があっても乗り越える事ができると信じています。自分に合った方法を見つけ、高く厚い壁を乗り越え「命」を大切にしてください。

「人生はロールプレイングゲーム」

4組担任 松 田 大 輝

3年生の皆さん卒業おめでとう。保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。3年間にわたり、年次およびクラスの活動にご理解とご支援を賜りましたこと、重ねて感謝申し上げます。

この3年間は震災・コロナ禍と様々なことがおこり、常に緊張や不安がつきまとった高校生活でした。学校祭や見学旅行、部活動を含め楽しいことだけでなく、苦しい思い出もあったと思います。ますます不透明な社会に飛び出す君たちの人生は、追い風で順風満帆の時もあれば、逆風にさらされる時もあるでしょう。しかし、「風が一番高く上がるのは、風に向かっている時である。風に流されている時ではない。」と、イギリスの政治家が言いました。ピンチをチャンスに変えていく、そんな力強さを持つて次のステージに進んで下さい。

スマホが学力低下を招いているという一説があります。ただ、私の時代にはファミコンがありました。だからスマホが悪いなんて全く思いません。スヌーピーは「どうして犬なんかでいられるの」という間に「配られたカード

で勝負するのさ。それがどういう意味であれ。」と答えました。「1時間」カード×24枚のうち何枚かを、「スマホ」という便利なカードに交換している君たち。巨人GFAの支配はますます

強まり、多くの職がAIに変わられる未来。SNS抜きのビジネスは難しくなってきた今、「スマホ」カードの使い方が人生ゲームの状況を左右するのかもしれない。「足が速い」「体力がない」「優しい」「ずるい」「勇敢」「無鉄砲」も、全てが君たちの手札です。学校から帰って寝ずに魔王や竜王を倒す旅に出ていた私ですが、人生で大切なことの多くをゲームや漫画から学んだ気がしています。スライムを倒して満足するも人生。まだ見ぬ土地に旅立つも人生。一度きりの人生を、存分に楽しんで下さい。君たちのこれからを、心から応援しています。

卒業おめでとういびつます

5組担任 津 田 祐 助

3年生のみなさん卒業おめでとうございます。思い起こせば、この3年間は異質な3年間だったのかと思います。1年次には胆振東部地震が起これ、2年次後半には新型コロナウイルス感染症が発生しました。学校祭に至っては、1年

次は雨で行灯行列が中止、3年次は学校祭そのものが中止。学校行事だけでなく、各部活動の大会も中止や通常とは違う形で開催されました。

高校3年間は人生において大切な時間で、それが通常通りに送ることができなかったことは、何だか残念に思います。きつとこの先に人生を振り返るとき、真っ先にコロナが出てきてしまうのでしょうか。しかしながら各方面の尽力により、代替の大会や行事が行われました。これも貴重な経験だったと思います。世の中の多くの人たちが慌ただしく準備をしてくれました。このことを君たちがどう受け止めるのが大切です。世の中では3年生のためにという風潮がありました。1・2年生にとっても貴重な時間です。コロナ騒動の責任は誰でもありません。自分達は残念な思いをしたから特別なんだではなく、多くの人たちが大変な中で動いてくれたことを忘れないで欲しい。これからの人生で何か世の中が困難に見舞われたとき、君たちが世の中から受けた恩義を思い出し、活躍することを期待します。

三年間を振り返って

3年5組 伊 藤 励

高校三年間が私にはとても短く感じられました。一年生の時はほどよく勉強し、部活動に多くの時間を費やし、気がつけば二年生として新入生を迎える側になっていました。二年生ではクラスにも完全に慣れ、何

にも追われることなく楽しい学校生活を送り、修学旅行をはじめとして一つ一つの行事がより一層楽しかったのを覚えています。そして気づいたら三年生になっていました。コロナウイルスの影響で学校に行けずにおどした日々や、学校行事の中止や縮小、高体連の中止など、思っていたとおりにはいかない苦しい時期もありましたが、私はこの状況下で最大限に楽しめたと思っています。

私には苦小牧南高校に入学して良かったと思うことが三つあります。

一つ目は先生方が生徒からの相談に親身になって対応してくれたことです。私自身も進路に関わって持川先生をはじめ、多くの先生にお世話になりました。

二つ目は部活動に熱心に取り組め

る環境が整っているとこです。私の三年間は部活動なしでは語れませんが。七時半からの朝練、八時過ぎまでの放課後練習、自由に設けられた自主練など、好きなバスケットボールに思い切り取り組みました。そのおかげで全道大会出場や国民体育大会への道代表としての参加など、中学生のときには想像できなかった沢山の良い経験ができました。

三つ目はたくさんの良い友達に出会えたことです。南高校だからこそ出会えた友達とは、これからもずっと仲良くしていきたいです。私の中にある友人との楽しい思い出は、会話によるコミュニケーションから生まれたものです。これは携帯の校内使用禁止という校則と無関係ではなかったと今では思います。

三年間を振り返ると、とても楽しかったというのが一番の感想です。三年間で関わりを持った全ての人に感謝しています。



合格体験記

合格までの流れ

3年1組 岩崎 彩乃

私は公募推薦で藤女子大学文学部
日本語・日本文学科に合格しました。
小論文対策は試験日の二か月前から
行いました。小論文で気をつけたこと
は要約を本文のツギハギだけにしない
ということです。また本文に即し自分
の意見を述べる際には、難しい課題文
であつても実体験につなげて論の説得
力を増すことができるように練習を重
ねました。小論文は量をこなすことが
大切であると考え、私の場合は約二十
年分の過去問を解きました。

面接練習は試験日の三週間前から
始めましたが、もつと早くから始め
ておけば良かったと後悔しました。
私が一番、面接練習の中で苦労した
ことは文学部ということもあり読書
について多く聞かれるということだ
でした。私は圧倒的に読書量が足りず、
不安で一杯でした。また、どのよう
な聞かれ方をされても自分なりに話
せるように、何人もの先生に練習を
お願いしました。

そして迎えた試験日当日。小論文

は私が今まで解いてきた過去問より
読みやすく、正直ラッキーでした。
面接はトップバッターでしたが、二
人の面接官が話しやすい空気を作り
出してくれたため緊張せずに自分を
アピールすることができました。不
安だった読書に関しての質問も一冊
の本について熱弁したため他に掘り
下げられることはなく安心しました。
最後になりますが、小論文の担当を
して下さった先生や面接練習を行っ
て下さった先生方には本当に感謝し
かありません。大学入学後も目標を
もって勉学に励みます。



無駄なことは無い

3年4組 山岸 寛史

私は最初、公務員になろうとして
いたので、苦手な数学を克服するた
めに自分で参考書や問題集を買って
やったり、大原の公務員模試を受け
たりしました。しかし新型コロナウイルス
の影響によって更に合格が厳
しくなってしまう、私はすぐに指定
校求人を目を向けて就職先を変え、
就職試験に向けて勉強を始めました。
内容は国語、数学、英語、一般常識
でした。進路室にある問題集をはじ
めてやったとき、公務員試験対策で
学んだことがほとんどだったので、
筆記の方はあまり苦戦することなく
突破できると自信がもてました。面
接は先生方が何度も練習してくれま
した。今までの自分の人生や思っ
ていることをきちんと面接官相手に伝
えようと思い練習に取り組んだので、
緊張しすぎることも無く受け答えが出
来るようになり、自信をつけること
ができました。

そして試験が行われる新潟へと向
かいました。見知らぬ土地に一人で
向かったのですが、試験場に到着するこ
とができるのか不安になりましたが、
現地の人に聞いたりしてなんとか到
着することができました。道外には

北海道には無いものがたくさんあつ
て勉強になるので積極的に行ってみ
た方が良いと思います。

私が最後にお伝えしたいことは、
やってみて無駄なことは無いとい
うことです。私の場合、公務員試験対
策が民間就職の勉強になりましたし、
道外に出てみたら勉強になることが
たくさんありました。例えば毎日欠
かさずニュースをチェックすること
などは正直面倒くさいと感じる人も
いると思います。今は必要の無いこ
とと思っても、頑張つてやってみた
ら社会人になってからの人間関係の
構築につながるかもしれません。無
駄なことは無いと信じて、いろいろ
なことを学び、経験したことがない
ことに挑戦して、自分の進路実現に
向けて頑張つて下さい。



3年前の入学式

令和2年度進路状況 (2月12日現在のべ人数)

4年制大学 (国公立)	
室 蘭 工 業 大 学	5
公 立 は こ だ て 未 来 大 学	2
計	7

4年制大学 (私立)	
北 海 学 園 大 学	4
北 星 学 園 大 学	2
北 海 道 文 教 大 学	6
北 翔 大 学	3
千歳リハビリテーション大学	4
日 本 医 療 大 学	2
北 海 道 医 療 大 学	1
北 海 道 科 学 大 学	1
藤 女 子 大 学	1
東 海 大 学	1
札 幌 学 院 大 学	2
札 幌 国 際 大 学	2
酪 農 学 園 大 学	2
創 価 大 学	1
桜 美 林 大 学	1
京 都 芸 術 大 学	1
計	34

短期大学	
札 幌 国 際 大 学 短 期 大 学 部	2
北 海 道 武 蔵 女 子 短 期 大 学	1
北 翔 大 学 短 期 大 学 部	2
計	5

専修学校 (看護・医療系)	
王子総合病院附属看護専門学校	7
苫小牧看護専門学校	15
札幌看護医療専門学校	3

北海道看護専門学校	1
札幌医療リハビリ専門学校	1
北海道歯科技術専門学校	1
吉田学園医療歯科専門学校	2
計	30

専修学校 (衛生・教育・福祉・情報等)

札幌観光プライダル・製菓専門学	1
札 幌 こ ど も 専 門 学 校	2
札幌スポーツ&メディカル専門学校	1
札幌デザイン&テクノロジー専門学校	1
札幌ベルエポック専門学校	3
日本工学院北海道専門学校	3
大原法律公務員専門学校	5
日本航空専門学校	2
北海道エコ・動物自然専門学校	2
北海道ハイテクノロジー専門学校	4
北海道文化服装	1
北海道理容美容専門学校	2
札幌放送芸術&ミュージックダンス専門学校	1
専門学校札幌ビジュアルアーツ	1
代々木アニメーション学院札幌校	1
東京総合美容専門学校	1
東京ビューティーアート専門学校	1
日本工学院八王子校	1
パンタンデザイン研究所専門学校	1
文化服装学院	2
神 田 外 語 学 院	1
宮島学園北海道調理師専門学校	1
茨 城 音 学 専 門 学 校	1
エコール辻大阪専門学校	1
計	40

就職 (公務員)	
税 務 職 員	2
北海道行政職員 一般行政	2
小 中 学 校 事 務 職 員	1
白 老 町 職 員	2
空 知 総 合 振 興 局	1
登 別 市 役 所	1
日 高 町 役 場	2
む か わ 町 職 員	1
苫 小 牧 市 消 防	2
東 胆 振 消 防 組 合	2
札 幌 市 消 防 局	1
北 海 道 警 察	4
海 上 保 安 学 校	1
自 衛 隊 一 般 曹	1
自 衛 隊 自 衛 官 候 補 生	1
計	24

就職 (民間)	
苫東石油備蓄株式会社	1
石油資源開発株式会社	1
盛 興 建 設 株 式 会 社	1
学校法人苫小牧中央学園苫小牧中央幼稚園	1
DIC 北 日 本 有 限 株 式 会 社	1
株 式 会 社 三 星	1
山 大 産 業 株 式 会 社	1
野口観光ホテルプロフェッショナル学院	1
野 口 観 光 株 式 会 社	1
パーフェクトリパディー教団	1
株 式 会 社 エ ー ナ イン	1
計	11



3 年 次 生

部活動 結果報告

《運動部》

●野球部

令和2年度北海道高等学校野球大会 南北
海道大会 室蘭支部大会(7月18、26日)
1回戦 7-1 富川・白東・苫小牧連合
準決勝 2-9 苫小牧工業
第72回秋季北海道高等学校野球大会室蘭支
部予選(9月12、20日)
2回戦 4-10 苫小牧東・白東・えりも・富川連合
準決勝 0-5 苫小牧東

●ソフトテニス部

第50回北海道高校新人ソフトテニス選手権
大会 苫小牧地区予選(8月10、11日)
【男子ダブルス】 今田悠之祐・小川拓望 組
優勝
【男子シングルス】 小川拓望 組
第2位
【女子ダブルス】 千代川采明・鈴木美奈 組
優勝
【女子シングルス】 伊藤千夏 組
第3位
第50回北海道高校新人ソフトテニス大会北
海道予選(9月19、20日)
【男子ダブルス】 今田悠之祐・小川拓望 組
2回戦進出
【男子シングルス】 小川拓望 組
2回戦進出
【女子ダブルス】 千代川采明・鈴木美奈 組
2回戦進出
伊藤千夏・中村綺蘭 組
2回戦進出
伊藤千夏
令和2年度北海道高等学校新人ソフトテニ
ス大会 団体戦 苫小牧地区予選
(8月30日、9月6日)
【女子団体】 ベスト8

●男子テニス部

第44回室蘭支部高等学校秋季テニス大会
(9月12、13、19日)
【団体戦】 第3位
準決勝 0-5 苫小牧工業
【ダブルス】 ベスト8(第6位) 本澤凛・本間威伸組
2回戦進出
初回戦敗退 熊谷俊・野月潤也組
【シングルス】 ベスト8(第8位) 本澤凛
2回戦進出
初回戦敗退 吉村健豊・南谷慧斗組
熊谷俊 堀川篤人 南谷慧斗 熊谷俊

●女子テニス部

第44回室蘭支部高等学校秋季テニス大会
(9月12、13、19日)
【団体戦】 準優勝(全道大会)
決勝 1-4 苫小牧東
【ダブルス】 ベスト8(第7位) 橘瑞姫・秋保空璃組
1回戦 藤田有里・田中里奈組
【シングルス】 1回戦 橘瑞姫
秋元咲花 澤田有里 秋保空璃 田中里奈 岡崎琴胡

●女子バレーボール部

第42回北海道高等学校秋季テニス大会兼
第43回全国選抜高等学校テニス大会北海道
地区予選(10月13、16日) 帯広市
【団体戦】 1回戦 0-5 帯広南商業高等学校
第73回全日本バレーボール高等学校選手権
大会北海道代表決定戦苫小牧地区予選会
(10月4日)
第3位
第1試合準決勝 0-2 北海道栄
3位決定戦 2-0 苫小牧東

第13回すながわスイツロッド杯バレー兼
砂川スポーツフェスティバルバレーボール
大会 優勝
第16回北海道高等学校バレーボール新人大
会 優勝(全道大会進出)
(1月10日)
第16回北海道高等学校バレーボール新人大
会 優勝(全道大会進出)
(1月10日)
第16回北海道高等学校バレーボール新人大
会 優勝(全道大会進出)
(1月10日)
第16回北海道高等学校バレーボール新人大
会 優勝(全道大会進出)
(1月10日)

●男子バスケットボール部

2020年度 第73回北海道高等学校バス
ケットボール選手権大会苫小牧地区予選会
(9月26、27日、10月4日)
2回戦 74-72 苫小牧中央
準決勝 60-110 苫小牧中央
3決 90-81 浦河
2020年度 第33回北海道高等学校バス
ケットボール新人大会 苫小牧地区予選会
(1月16、17日)
1回戦 45-54 苫小牧東

●女子バスケットボール部

2020年度 高等学校バスケットボール
選手権大会 苫小牧地区予選会
(9月26、27日、10月4日)
2回戦 全道大会出場
1回戦 122-28 静内・白老東合同
準決勝 68-65 苫小牧総合経済
決勝戦 51-85 北海道栄
2020年度 高等学校バスケットボール
選手権大会 北海道予選会(11月13、15日)
1回戦 75-47 釧路明輝
2回戦 39-102 旭川藤星
2020年度 第33回北海道高等学校バス
ケットボール新人大会 苫小牧地区予選会
(1月16、17日)
第2位 全道大会出場
1回戦 112-46 浦河
準決勝 58-41 苫小牧総合経済

●バドミントン部

第58回 苫小牧市長杯高校新人バドミント
ン大会(9月26日)
【男子シングルス】 第4位 納口翔琉
優勝 山田 優・渡邊千晶 組
準優勝 今 茜音・品山智美 組
第4位 國司彩菜・澤口楓奈 組
【女子ダブルス】 第3位 山田 優
第4位 今 茜音
【女子シングルス】 第3位 山田 優
第4位 今 茜音
第49回 全国高等学校選抜バドミントン大
会 苫小牧地区予選会(個人11月23日、団体12月5日)
【男子団体】 第4位
1回戦 3-2 静内
準決勝 1-3 浦河
3位決定戦 0-3 苫小牧東
【女子団体】 優勝(全道)
準決勝 3-1 北海道栄
決勝 3-1 静内
【男子シングルス】 ベスト8 納口翔琉
【女子ダブルス】 優勝 今 茜音・品山智美組(全道)
準優勝 山田 優・渡邊千晶組(全道)
第4位 阿部ことみ・川合亜子組
ベスト8 國司彩菜・澤口楓奈組
【女子シングルス】 第2位 山田 優(全道)
ベスト8 今 茜音
渡邊千晶 品山智美 阿部ことみ
第49回 全国高等学校選抜バドミントン大会
北海道予選会(1月14、16日) 小樽市
【女子団体】 2回戦 0-3 札幌北斗
【女子ダブルス】 3回戦 今 茜音・品山智美組
(北海道ベスト8)
【女子シングルス】 初回戦 山田 優
渡邊千晶 組
初回戦 山田 優

卓球部

全日本卓球選手権大会苦小牧予選

(8月23日)

【ジュニア男子シングルス】

2回戦 藤川和真・渡邊柊

【ジュニア女子シングルス】

3位 中川南実

ベスト8 中川紗香

3回戦 高橋尚子

2回戦 大橋亜実・大淵未典

北海道高等学校選抜卓球大会室蘭支部予選

(11月7・8日)

【女子学校対抗】 準優勝(全道)

【男子シングルス】

3回戦 渡邊 柊

1回戦 藤川和真

【女子シングルス】

優勝 中川紗香

準優勝 高橋尚子

第3位 大橋亜実・中川南実

北海道高等学校選抜卓球大会(2月3・5日)

【女子学校対抗】

1回戦 苦南 3-0 大森

2回戦 苦南 2-3 帯広大谷

サッカー部



第54回苦小牧地区会長杯争奪サッカー大会(高校の部) 兼 2020年度 苦小牧地区高等学校サッカー春季大会(中止)

令和2年度第73回北海道高等学校サッカー選手権大会室蘭支部予選大会 兼 令和元年全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会室蘭支部予選会(中止)

第99回全国高校サッカー選手権大会 苦小牧地区予選大会

1回戦 1-1 浦河(8月22・30日)

第9回 苦小牧地区高校ユース(U-17)サッカー大会

2回戦 1-0 浦河(9月26・27日)

3回戦 1-2 北海道栄

第32回全道ユース(U-18)フットサル選手権大会 苦小牧地区予選(中止)

陸上部

2020 室蘭記録会 第1戦

期日 7月11日(土)

場所 室蘭入江陸上競技場

【女子400mH】

第1位 岡村佑芽 1分07秒67

【女子400mH】

第4位 伊藤 菜 1分23秒35

【女子走幅跳】

第8位 水丸寧々 4m18

【女子やり投】

第1位 小松香凛 45m46

【女子400mH】

第4位(自己ベスト記録)

岡村・小松・伊藤・水丸 52秒70

齊藤修弥記念大会

期日 8月9日(日)

場所 室蘭入江陸上競技場

【女子300m】

第2位 岡村佑芽 44秒71

【女子300m】

第3位 小松香凛 47秒00

【女子400mH】

第2位

岡村・小松・伊藤・水丸 54秒77

第35回高体連室蘭支部新人大会兼全国高等学校リモット陸上競技選手権大会

期日 8月29日・30日

場所 室蘭入江陸上競技場

【女子400mH】

第2位(全道大会出場へ)

伊藤 菜 1分14秒76

【女子400mH】

第4位(全道大会出場へ)

水丸寧々 1分15秒77

【女子砲丸投】

第1位 小松香凛 9m64

【女子やり投】

第1位 小松香凛 41m30

2020 室蘭記録会 第2戦

期日 9月12日(土)

場所 室蘭入江陸上競技場

【女子400mH】

第1位 伊藤 菜 1分13秒68

【女子400mH】

第3位 水丸寧々 1分17秒72

【女子走幅跳】 水丸寧々 4m26

2020 全国高等学校陸上競技大会

期日 10月23・25日

場所 広島県広島市

【女子やり投】 第13位 小松香凛 45m47

吹奏楽部

第65回日胆地区吹奏楽コンクール

(8月1・2日)※中止

第34回定期演奏会(8月22日)

北海道高等学校文化連盟苦小牧支部音楽専門部第54回音楽発表大会(8月21日)※中止

代替策として動画による演奏交流を実施

第49回日胆地区ソロ・アンサンブルコンクール

(1月17日)

【ソロの部】

金賞 安藤凛音(TP)

【アンサンブルの部】

金賞 クラリネット4重奏

(木村天音、滝月、山端愛梨沙、有澤美姫)

ボランティア局

Lベース(学習支援活動)を昨年度から継続

フェリスシールド作を作り、苦小牧市子ども通園センターにおおろ園と苦小牧健樹園に贈る

その寄贈に対して苦小牧市長岩倉博文から感謝状を受ける

(7月21日)

校内の花壇整備を保健部とともに行う

(7月)

コロナウイルスの校内消毒活動を保健部とともに行う

(9月)

赤い羽根の共同募金活動を校内で行う

(12月2・4日)

図書局

令和2年度高文連苦小牧支部図書委員研究大会

中止

高文連第42回全道高等学校図書研究大会

中止

放送局

第67回NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会苦小牧地区大会

中止

北海道高等学校文化連盟第43回放送コンテスト

苦小牧地区予選大会(10月7日)

【朗読部門】 第4位 林崎妃那

北海道高等学校文化連盟第43回放送コンテスト

(11月19日(木)・20日(金))札幌市

茶道部

高文連苦小牧支部茶道・華道部会

中止

演劇部

令和2年度高等学校文化連盟苦小牧支部演劇発表大会

優秀校 「教室裁判」 苦南演劇部

第18回苦小牧市はすかつぶ演劇祭

公演 「教室裁判」 苦南演劇部

第70回全道高等学校演劇発表大会

優良賞 「教室裁判」 苦南演劇部

(作) 山崎公博 潤色 苦南演劇部

(11月9日・13日)

優良賞 「教室裁判」 苦南演劇部

(作) 山崎公博 潤色 苦南演劇部

(11月9日・13日)

優良賞 「教室裁判」 苦南演劇部

(作) 山崎公博 潤色 苦南演劇部

(11月9日・13日)

優良賞 「教室裁判」 苦南演劇部

(作) 山崎公博 潤色 苦南演劇部

(11月9日・13日)

優良賞 「教室裁判」 苦南演劇部

(作) 山崎公博 潤色 苦南演劇部

(11月9日・13日)

優良賞 「教室裁判」 苦南演劇部

(作) 山崎公博 潤色 苦南演劇部

(11月9日・13日)

優良賞 「教室裁判」 苦南演劇部

(作) 山崎公博 潤色 苦南演劇部

(11月9日・13日)

優良賞 「教室裁判」 苦南演劇部

(作) 山崎公博 潤色 苦南演劇部

(11月9日・13日)

優良賞 「教室裁判」 苦南演劇部

(作) 山崎公博 潤色 苦南演劇部

(11月9日・13日)

優良賞 「教室裁判」 苦南演劇部



●美術部

令和2年度北海道高文連吉小牧支部美術展・研究大会(8月21日)

最優秀賞

峰明々乃

久保結愛

優秀賞

石橋ミユ

大西亜優

山田凜奈

池田みゆ

今井渚

壁岸美羽

小林音々子

白鳥花怜

野村みちる

峰明々乃

久保結愛

石橋ミユ

令和2年度全道高等学校Web美術展

全道優秀賞

峰明々乃

久保結愛

石橋ミユ

●書道部

令和2年度北海道高等学校文化連盟吉小牧支部書道展・研究大会(9月14日)

優秀賞

全道大会出品・全道大会出場

福井萌々奈

山田佑莉

吉田愛莉

渡辺妃莉

渡邊理菜

池田彩愛

福井郁南

福井萌々奈

渡辺妃莉

渡邊理菜

池田彩愛

福井郁南

福井萌々奈

渡辺妃莉

渡邊理菜

池田彩愛

福井郁南

福井萌々奈

渡辺妃莉

渡邊理菜

池田彩愛

福井郁南

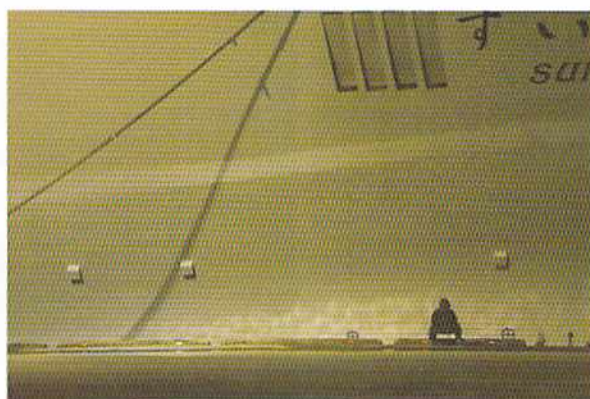
福井萌々奈

渡辺妃莉

渡邊理菜



『開通余道太尉鉅』 渡辺妃莉



『寂寥』 武田乃愛

●写真部

令和2年度高文連全道写真展・研究大会

優秀賞

「寂寥」

武田乃愛

佳作

「亜空間」

濱田咲花

令和2年度高文連吉小牧支部写真展・研究大会(上位4作品全道大会へ)

優秀賞

「亜空間」

濱田咲花

優秀賞

「暑いときは保冷剤！」

松本幸恵

優秀賞

「星を掴む」

武田乃愛

入選

「寂寥」

武田乃愛

入選

「寂寥」

武田乃愛

入選

「寂寥」

武田乃愛

入選

「寂寥」

武田乃愛

入選

「寂寥」

武田乃愛

入選

「寂寥」

武田乃愛

入選

「寂寥」

武田乃愛

入選

「寂寥」

武田乃愛

入選

「寂寥」

武田乃愛

入選

「寂寥」

武田乃愛

入選



HR教室 消毒液



HR教室 濡れタオルと扇風機2台



HR教室 蒸気皿

校内の感染対策

うつらない。うつさない。いま一人ひとりができることを
高校生の皆さんへ

皆さんが住んでいる地域内では、新型コロナウイルス感染症の発生が懸念されています。自分自身や大切な人々の命を守るため、一人ひとりが感染防止対策を行いながら生活しましょう。

朝 毎朝体温測定・健康チェック

● 自分や家族に発熱・風邪症状がある場合は、学校に連絡し、自宅過ごしをしましょう。

登下校 JR・バスに乗るとき

- 公共交通機関（JR・バス）に乗るとき、必ずマスクを着用し、静かに過ごしましょう。
- できるだけ乗客の少ない時間帯に利用しましょう。
- できるだけ開扉を空けて降りるようにしましょう。

学校での過ごし方 休み時間・昼食時間

- 向かい合わせに座らず、会話をすると、必ずマスクを着用しましょう。
- 大声での会話を控えましょう。

手洗いのタイミング

- 外から教室に入るとき
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
- 給食（昼食）の前
- 掃除の後
- トイレの後
- 共有のものを触ったとき

マスクと消毒を徹底しよう

- 部室や更衣室では必ずマスクを着用しましょう。
- 用具等は、消毒して使用しましょう。
- 活動によっては、マスクを外しても構いません。

必ずマスク着用

- 友人との飲食はできるだけ控え、会食や飲み会、カラオケは推奨が限定的です。必ずマスクを着用しましょう。

放課後

- 友人との飲食はできるだけ控え、会食や飲み会、カラオケは推奨が限定的です。必ずマスクを着用しましょう。

春休みなど休みの過ごし方

- 「十分な睡眠」、「適度な運動」、「バランスの取れた食事」を心がけ、病気に耐える抵抗力を高めます。
- 外出するときは、必ずマスクを着用し、手指消毒を徹底しましょう。
- 新しい情報のもと、冷静に思いやりのある行動をしましょう。

※ 学校で定められたルールがある場合は、学校のルールを守って生活しましょう。

北海道教育委員会 道庁保健所・市町村保健所 道庁教育委員会



職員玄関 消毒液



生徒玄関 消毒液



ハンドルをレバーに



部活動紹介



入 学

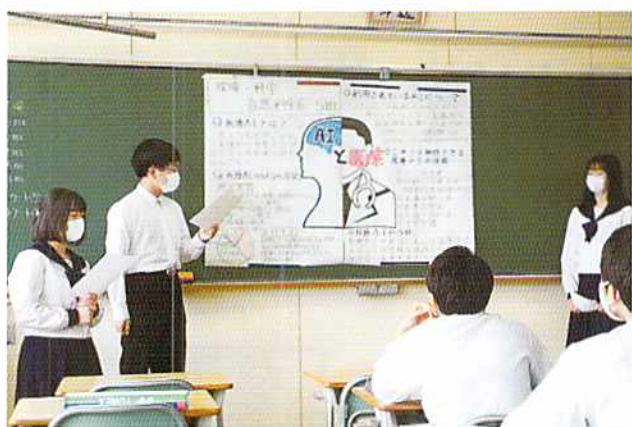
今年度の活動より



Hokkaido Study Abroad



花壇整備



3年次生 総合的な探究の時間



性の講話



3年次生 遠足



1年次生 遠足



1年次生スキー研修



1年次生スキー研修



スポーツ大会



スポーツ大会



スポーツ大会



スポーツ大会



スポーツ大会



スポーツ大会

開催日:10月1日、2日、5日

スポーツ大会の成績

総合

優勝

3年4組

準優勝

3年5組
3年2組

男子サッカー

1位 3年3組
2位 3年3組
3位 3年5組

選抜リレー

1位 3年5組
2位 3年2組
3位 3年1組

男子バスケットボール

1位 3年5組
2位 3年2組
3位 3年3組

女子バスケットボール

1位 2年3組
2位 2年4組
3位 3年3組

男子バレーボール

1位 3年4組
2位 3年2組
3位 3年1組

女子バレーボール

1位 3年4組
2位 2年4組
3位 2年2組

男子ドッジボール

1位 3年4組
2位 3年1組
3位 2年2組

女子ドッジボール

1位 3年4組
2位 3年2組
3位 1年3組

あとがき

新型コロナウイルス感染症拡大の勢いが止まらず、我々の暮らしに大きな影響を与えて続いています。今や、私たちは日常でマスクをすることが当たり前前に感じ、スーパーや施設に入るときには、まず消毒液がどこにあるかを目で追うようになっていきます。急速に「リモート化」が進み、コロナが収束してもこの流れは続くでしょうが、人と人とのつながりの希薄化などの問題があることもわかってきました。

コロナ禍で一躍脚光を浴びたのが、100年前のスペイン風邪です。当時オランダアントワープで行われたオリンピックは、観客が制限され静かに開催されたそうです。学校の休校など、今日と同じような光景が展開されました。後の人から見れば、このPTA便りは奇異な記事の集まりに思えるかも知れませんが、私たちは起きたことを後世に伝える義務があると思います。

高校では「ソーシャルディスタンス」を確保するために、体育の授業から柔道・剣道などの種目が消え、調理実習も中止、グループワークの制限など授業に強い制約がかかっています。9月には、2つの体育館をリモートで結んだ集会を行いました。技術的な問題のため、その後の集会は「全校放送」で代用しています。10月の2年次の見学旅行は3月に延期になり、1月の宿泊研修は、2日間日帰りのスキー研修として実施することにしました（原稿を書いている1月20日時点です）。実施の可否は定かではありません。就職試験の解禁は10月と1ヶ月も遅れ、入試では面接が中止され書面のみ審査となった学校もありました。PTA活動においても10月に予定されていた視察研修、12月の役員会も中止になり、本格的な活動が難しい状態です（書いていて、：疲れてきました）。

しかし、10月上旬に延期し実施したスポーツ大会では、状況を逆手に取り、生徒会がスマートフォンを使ったゲーム大会にチャレンジしてくれました。また、後期からは部活動の大会も少しずつ行われるようになり、複数の運動部・文化部が全道出場を決めるなど、うれしいニュースも飛び込んできました。特に、10月に広島で行われた全国高等学校陸上大会に女子やり投げで出場した3年5組小熊香凛さんは、45m47cmの記録で13位に入り、同月に帯広で行われた全道高文連書道大会では、2年2組の渡辺妃莉さんが来年の全国大会（全国高等学校総合文化祭）参加を決めました。

10月に開催したオーブンスクールでは、以前にもご紹介した南高校アクションプラン（MAP）の一環として、来年度1年次からの新制服を発表しました（新制服はHPに掲載しています。是非ご覧ください）。また、12月からは、試行として長距離である市内東部からの学生専用便バスの一部を快速化しています。難しい状況下であっても、やれることがあるのだとの思いで教職員一同取り組んでいくつもりです。引き続き南高へのご支援をよろしく願います。

（教頭 佐瀬雅彦）